ＦＲＩＰ定着工法要領図

2014.7.1

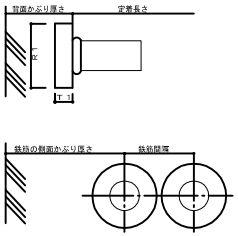
○ 適用範囲

本要領図は、(株)伊藤製鐵所の「オニプレート定着工法 FRIP定着工法（SABTEC 評価 12-03R1）」を用いる場合に適用する。
(技術基準解説書に従う)

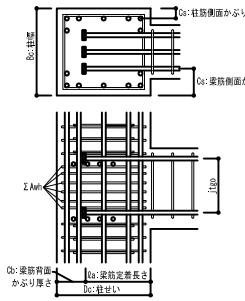
○ ＦＲＩＰ定着板寸法

（mm）

ＦＲＩＰ呼び名	プレート直径（Ｒ１）	プレート厚さ（Ｔ１）	必要側面かぶり厚さ ト形 梁 (3.0db)	T・L形 柱 (2.0db)	T・L形 梁 (3.0db)
D13	32	11.0	39.0	26.0	39.0
D16	40	13.0	48.0	32.0	48.0
D19	50	16.0	57.0	38.0	57.0
D22	55	18.0	66.0	44.0	66.0
D25	60	20.0	75.0	50.0	75.0
D29	75	24.0	87.0	58.0	87.0
D32	80	26.0	96.0	64.0	96.0
D35	85	28.0	105.0	70.0	105.0
D38	95	31.0	114.0	76.0	114.0
D41	100	25.0	123.0	82.0	123.0



○ 定着板の定着長さなど



・定着長さLa≧Lao かつ構造規定値以上
Lao：構造計算より求めた定着長さ
db：鉄筋の呼び名径
例：ト形接合部の場合
La≧Lao かつ15db(※)かつ3/4Dc以上
（※柱に引張軸力が作用しない場合は12db以上）

・帯筋比 Pjwh＝ΣAwh ／ (Bc・jtgo)
jtgo：梁上下最外縁主筋の中心間距離
ΣAwh：jtgo区間内の横補強筋総断面積
※Lao:構造計算より求めた必要定着長さ

・背面かぶり厚さCb:構造規定以上
例：ト形接合部の場合 Cb≧3db
（定着長さ15db未満のときは4.0db以上）

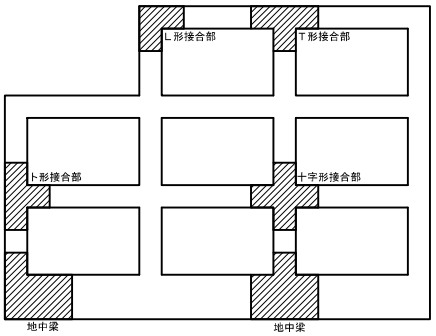
・側面かぶり厚さCs:構造規定以上
例：ト形接合部の場合 Cs≧3db

○ 構造規定

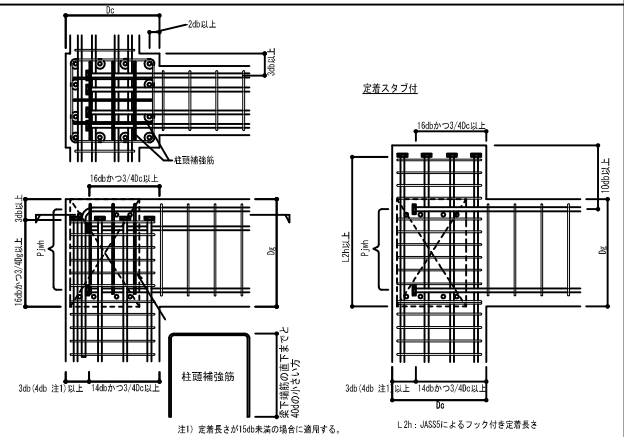
規定項目		ト形	T形	L形		
		梁	柱	柱	梁上筋	梁下筋
定着長さ	鉄筋径に対し	15db（※1）以上	16db（※3）以上			14db以上
	仕口せいに対し	3/4D以上	3/4D以上			3/4D以上
側面かぶり	鉄筋芯まで	3db以上	2db以上		3db以上	
	定着板側面	JASS5 10節かぶり厚さによる				
柱梁接合部の背面かぶり厚さ		3db（※2）以上	3db以上		—	3db（※2）以上

※1：柱に引張軸力が作用しない場合は12db以上かつ2/3D以上
※2：定着長さ15db未満の場合は4db以上
※3：特別に検討した場合（柱主筋外定着方式）は12db以上

○ 柱梁接合部名称



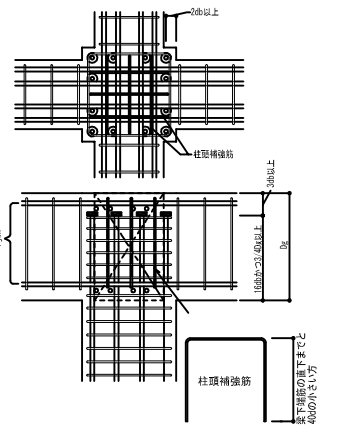
L形柱梁接合部



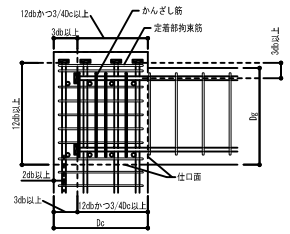
注1）定着長さが15db未満の場合に適用する。

L2h：JASS5によるフック付き定着長さ

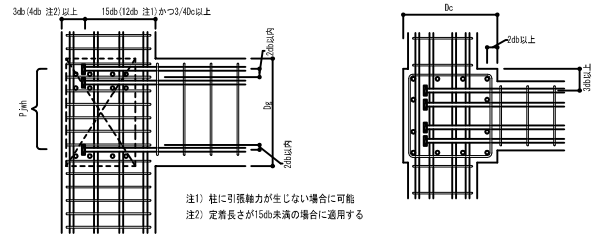
T形柱梁接合部



柱筋外定着方式

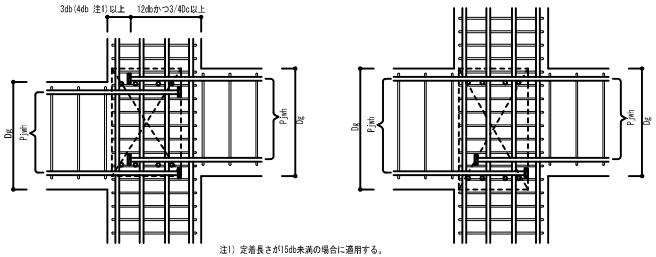


ト形柱梁接合部



注1）柱に引張軸力が生じない場合に可能
注2）定着長さが15db未満の場合に適用する

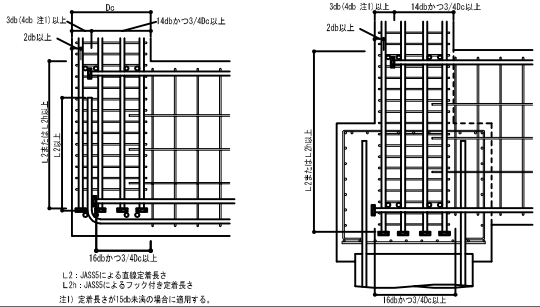
十字形段差梁接合部



注1）定着長さが15db未満の場合に適用する。

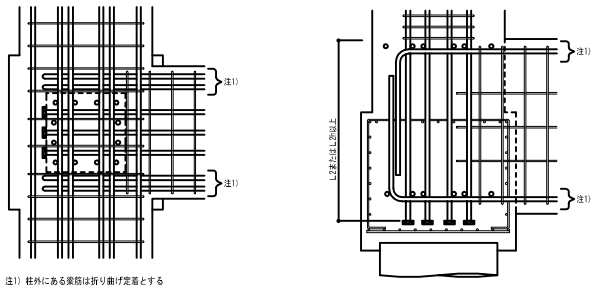
地中梁柱梁接合部

直接基礎の場合　　偏芯の少ない杭基礎の場合



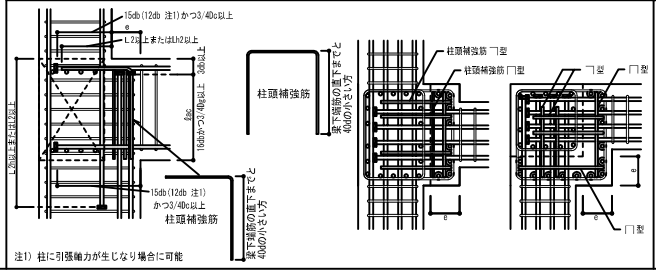
L2：JASS5による直線定着長さ
L2h：JASS5によるフック付き定着長さ
注1）定着長さが15db未満の場合に適用する。

巾広地中梁接合部



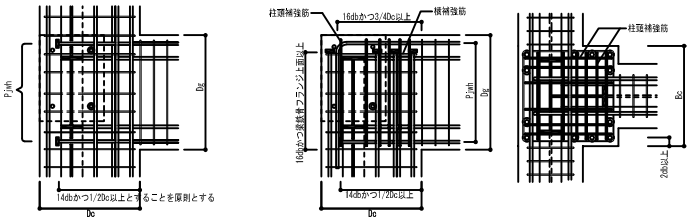
注1）柱外にある梁筋は折り曲げ定着とする

柱絞り部接合部



注1）柱に引張軸力が生じなり場合に可能

ト形・L形柱梁接合部（SRC造）



注1）RC造接合部と見なし設計する場合は、RC造ト形柱梁接合部による

注2）RC造接合部と見なし設計する場合は、RC造L形柱梁接合部による
注3）柱頭補強筋形状は、L形柱梁接合部（RC造）による。